

リハビリテーションを受ける整形外科疾患患者の 達成動機の因子構造

佐野 伸之

(吉備国際大学大学院保健科学研究科・株式会社アールケア)

1. 研究の目的

リハビリテーションは、クライアントが障害を乗り越えて目標を達成していくプロセスであり、その目標に向けられた動機を理解するには達成動機が重要となる。本研究では、達成動機測定尺度の先行研究との比較や性差について検討し、クライアントの達成動機の因子構造を明らかにすることを目的とした。

2. 方法

対象者 一般病院でリハビリテーションを受ける整形外科疾患患者 192 名(平均年齢 55.37±19.53)。
調査用紙 達成動機測定尺度を使用した(堀野ら(1991))。この尺度は自己充實的達成動機 13 項目、競争的達成動機 10 項目の計 23 項目からなり、各項目に 7 件法で回答する自記式の質問紙である。
手続き リハビリテーションを受ける前後に研究の説明を行い、同意を得た上で実施した。
分析方法 達成動機測定尺度の各下位尺度の得点に関して先行研究と本研究の男女差について、t 検定を実施した。さらに、全 23 項目について因子分析を行い(最尤法、直接オブリミン法)、収束した項目から KJ 法を参考に因子名を決定した。

3. 結果

t 検定では自己充實的達成動機は 1%未満で先行研究よりも有意に高く、反対に競争的達成動機は 5%未満で先行研究よりも有意に低い得点であった。また、競争的達成動機のみ 1%未満で女性が男性よりも有意に低い得点であった。

因子分析ではカイザーガットマン基準に従い、第 5 因子まで有効であることを確認した。KMO 測定、バートレットの球面性検定ともに妥当性が保証された。第 1 因子は独創性やマスタリーに関する 7 項目に収束したため「内発的動機」と解釈した。第 2 因子は社会的地位や他者との競争に関する 5 項目に収束したため「出世志向」と解釈した。第 3 因子は他者との比較や他者からの評価に関する 6 項目に収束したため「闘争心・賞賛」と解釈した。第 4 因子は自己基準や精力に関する 4 項目に収束したため「尽力」と解釈した。第 5 因子は競争よりも独自性を重視する 1 項目に収束したため「持ち味」と解釈した。また、各因子間の相関係数を算出した結果、第 1 因子は第 3 因子と

第 4 因子に中等度の正の相関関係、第 2 因子は第 3 因子と負の相関関係が見られた。

4. 考察

先行研究との比較から、本研究の対象者は目標に向かう際に競争的達成動機による行動となりにくいことが考えられた。さらに、この傾向は女性でより有意であり、女性では適応されにくい概念であることが考えられた。また、本研究の因子分析から全ての項目に負の相関を示した出世志向の因子が、特に先行研究と異なる因子構造を示していると考えられた。一方、本研究の対象者は自己充實的達成動機によって動機づけられる傾向にあり、それは障害を負っても自分らしい人生を送ることを目指しているためであると考えられた。また、目標に向かう際に、内発的動機や闘争心・賞賛、尽力、持ち味のような観点からリハビリテーションを行う構造にあることが考えられた。

Table1 達成動機測定尺度の因子分析結果

項目	F1	F2	F3	F4	F5
23 こういうことがしたいなあと思えるとかわくする	.91	-.04	-.09	-.16	.04
21 誰しにことでも自分なりに努力してやってみようと思う	.58	-.02	.14	.19	.00
12 何か小さなことでも自分にしかできないことしてみたいと思う	.58	.09	.11	-.00	-.29
6 ちょっとした工夫をすることが好きだ	.53	-.05	.06	-.02	.13
16 いろいろなことを読んで自分を深めたい	.48	-.06	.12	.21	.06
19 今日一日何をしようかと思えることはたのしい	.43	-.14	-.08	.25	.07
11 いつも何か目標を持っていたい	.38	-.05	.15	.26	-.12
18 成功するということは、名誉や地位を得ることだ	-.06	-.96	-.09	.09	-.07
20 社会の高い地位をめざすことは重要だと思う	.23	-.70	.00	.01	-.01
17 就職する会社は、社会で高く評価されるところを選びたい	.03	-.66	.06	.14	-.05
15 今の社会では、強いものが出世し、勝ち抜くものだ	-.12	-.51	.11	-.18	.23
13 勉強や仕事を努力するのは、他の人に負けないためだ	.01	-.44	.20	.03	.27
9 競争相手に負けるのはよくない	-.11	.03	.90	-.01	-.08
5 他人と競争して勝つとうれしい	-.05	-.13	.72	-.09	.03
2 ものごとは他の人よりもよくやりたい	.22	.05	.59	.10	.01
11 どうしても私は人より優れていたいと思う	.08	-.26	.54	-.19	.11
8 みんなに喜んでもらえるのがうれしい	.05	.02	.50	.18	.17
22 世に出て成功したいと強く願っている	.35	-.41	.43	-.18	-.20
7 人に勝つことより、自分なりに一生懸命やるのが大事だと思う	-.06	-.07	-.02	.75	.01
14 結果は気にしないで何かを一生懸命やってみよう	.22	-.06	-.02	.48	.27
10 何でも手がけたことには最善をつくしたい	.26	.00	.30	.33	.03
3 決められた仕事の中でも個性をいかしてやりたい	.27	.05	.26	.20	.16
4 人と競争することより、人とくらべるのができないようなこととして自分だけかしたい	.15	-.01	-.03	.07	.73
因子間相関行列					
F1	—	-.29	.42	.46	.38
F2		—	.45	-.05	-.20
F3			—	.18	-.25
F4				—	.19